

氏名：

## 造影剤使用（CT、血管造影、点滴静注腎盂造影）の説明

今回の検査はヨード造影剤を血管から注射しながら行います。造影剤を使用することによって、病気の部位が明確に写るようになり、正確な診断に役立ちます。また、疾患によって造影剤を使用しなければ正しい診断が出来ない事もあります。

ヨード造影剤は非常に安全性の高い薬剤ですが、以下の副作用が起こる可能性があります。また過去に大丈夫だった方にも起きることがあります。

- ① 造影剤の注射で身体が一時的に熱くなりますが、これは心配ありません。
- ② 40人に1人位の割合で、軽度の副作用（吐き気・嘔吐・じんま疹・かゆみ・くしゃみ・頭痛などの一時的な症状）があります。副作用のほとんどはこの症状です。
- ③ 体質によって、2.5万人に1人の割合で、治療を要する重篤な副作用（呼吸困難、血圧低下・ショック、急性腎不全などが主症状）を起こすことがあります。また極めてまれですが、死亡の報告例（40万人に1人位）もあります。当院では副作用が発生した場合に対応できるよう準備は整えてあります。
- ④ ごくまれに検査後数時間から数日後に体のだるさ・頭痛・じんま疹などの副作用が現れることがあります（遅延性副作用）。症状は一般に軽いことが多いとされています。

造影剤には、この様な副作用がありますが、主治医はあなたの病気を診断し治療する上で、造影剤を使用した検査が必要であると考えています。

造影剤の意義と副作用を理解された上で、造影検査に同意していただければご署名願います。

以上、造影剤使用の意義と副作用の説明を行いました。

なお、一旦同意されてもいつでも取り消すことができます。

## CT 造影剤使用前後の飲水について

### 【検査前】

腎機能低下がある方は、脱水になると造影剤による腎機能悪化の危険性が増すとされており、適度な水分摂取が望まれます。

検査前の食事が中止になっている場合も、水分は普段通り飲んで下さい。

ただし、胆嚢や胆管の精密検査が目的の場合にはその限りではありませんので、主治医とご相談下さい。

飲んで頂くのは水か白湯が望ましく、牛乳やコーヒーなどは検査結果に影響する場合がありますので、避けて下さい。

### 【検査後】

造影剤は主に尿となって体外に出ていきますので、腎機能低下の有無にかかわらず、検査後には十分な水分を摂取することが望ましいです。

検査後に飲んで頂くのも水か白湯が望ましいですが、普段糖分やカフェインの制限がなければ、お茶や清涼飲料水などでも結構です。

アルコールは脱水をきたす可能性があるので、当日は飲酒を避けて下さい。

### 【注意点】

検査前後いずれの飲水も、心不全・肝不全・腎不全、人工透析中など、日頃水分制限をされている方につきましては、そちらが優先されますので、主治医とご相談下さい。

その他、何かご不明な点等ございましたら、お尋ね下さい。

済生会広島病院

TEL/082-884-2566